



令和6年度

あさぎり町教育委員会
点検・評価報告書

令和7年8月

あさぎり町教育委員会

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の流れ	
2	教育委員会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
	(1) 教育委員会委員の職務	
	(2) 教育委員会の構成	
3	教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3～4
	(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況	
	(2) 総合教育会議の開催及び審議状況	
	(3) その他行事の活動状況	
4	点検・評価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5～9
	(1) 学校教育	
	ア 確かな学力の育成	
	イ 特別支援教育の推進・啓発	
	ウ 豊かな心の育成	
	エ 健やかな体の育成	
	オ 学校・家庭・地域等との連携・協働の推進	
	カ 社会の変化に対応した教育の推進	
	キ 教員の資質向上	
	ク 町所有文化財管理事業（丸池リュウキンカ）	
	(2) 生涯学習・生涯スポーツ	
	ア 生涯学習の推進	
	イ 生涯スポーツの推進	
	ウ 生涯学習・スポーツ関連施設	
	(3) 文化芸術の振興	
	ア 文化芸術環境の創造	
	イ 文化財の保存・活用（保存、文化財理解、郷土愛）	
	ウ 伝統芸能の保存・継承	
	(4) 人権尊重の推進	
	ア 人権教育・啓発の推進	
5	参考資料	
	あさぎり町教育振興基本計画 基本理念と基本目標・・・・・・・・	P 10～12

1 はじめに

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっています。

あさぎり町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、「あさぎり町教育委員会点検・評価」として報告書にまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等の点検のほかに、令和6年度あさぎり町教育委員会所管の主要な事務・事業です。

(3) 点検・評価の流れ

(1) 点検・評価表

点検・評価表については、令和5年にあさぎり町教育委員会が策定した第3期あさぎり町教育振興基本計画中の「5 具体的施策」をもとに、令和6年度の主な事業を評価項目として作成しました。

(2) 評価委員の委嘱

点検・評価の客観性を確保するため、有識者3名をあさぎり町教育委員会評価委員として委嘱し、教育委員会所管事務・事業を説明する機会を設け、外部評価及びご意見、ご助言をいただきました。

氏名 久保田久男 役職等 あさぎり町学校運営協議会委員

氏名 平川 由起 役職等 あさぎり町地域婦人会連絡協議会

氏名 桑原 明彦 役職等 あさぎり町PTA連絡協議会長

(3) 点検・評価の方法

点検・評価は、事業の実施状況と実績に対する評価委員による外部意見を踏まえ、「十分達成、概ね達成、やや不十分、不十分」の4段階で自己評価を行い、今後の方針を示しました。

2 教育委員会の概要

(1) 教育委員会委員の職務

教育委員会委員は、教育委員会会議に出席し教育行政の基本方針等を審議するほか、町内小中学への学校訪問や各種教育関係行事への出席、委員研修会等を行っています。

(2) 教育委員会の構成

あさぎり町教育委員会は、次の5人で構成され、教育長の任期は3年、委員は4年となっています。

教育長と委員は、議会の同意を得て町長が任命することとなっており、教育長は、教育委員会の会務を総理し委員会を代表します。

また、教育長は教育委員会の決定した基本的方針を受け、事務局を指揮監督して具体の事務を執行します。

【教育委員会委員名簿】

(令和7年7月1日現在)

職名	氏名
教育長	椎葉 勇二
委員（職務代理者）	伊勢 啓史朗
委員	中村 麻有
委員	椎葉 直美
委員	恒松 倉基

3 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況

あさぎり町教育委員会の会議は、毎月1回の「定例会」と、必要に応じて開催する「臨時会」があり、令和6年度は合計14回の会議を開催し、審議等を行いました。

① 会議の開催状況

会議	開催数
定例会	12回
臨時会	2回

② 審議状況

(ア) 付議案件数

議案	16件
協議	28件

(イ) 会議に付された主な案件

- ・各種委員の任命について
- ・一般会計予算について
- ・規則・要項の制定及び改正について
- ・就学援助児童生徒の認定について

(2) 総合教育会議の開催及び審議状況

町長と教育委員会が、十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、町長と教育委員会が協議を行いました。

① 会議の開催状況（令和6年度実績）

会議	開催数	開催月
総合教育会議	1回	1月

② 審議状況

(ア) 協議件数

協議事項	教育委員出席状況
3件	4名

(イ) 会議に付された案件

- ・学校規模等適正化について
- ・中学校部活動地域展開について
- ・中学校制服について

(3) その他行事の活動状況

	期日	内容	場所
学校教育	令和6年 4月 1日	教職員等辞令交付式	せきれい館
	令和6年 4月 9日	小・中学校入学式	町内小・中学校
	令和6年 8月26日	諸表簿点検	深田小学校
	令和6年 9月 5日	諸表簿点検	あさぎり中学校
	令和6年10月16日	学校訪問（総合）	須恵小学校
	令和6年10月25日	学校訪問（総合）	免田小学校
	令和6年11月 1日	学校訪問（経営）	上小学校
	令和6年11月12日	学校訪問（経営）	岡原小学校
	令和6年12月 2日	学校規模等適正化審議会	水上村立水上学園
	令和7年 3月 9日	中学校卒業式	あさぎり中学校
	令和7年 3月21日	小学校卒業式	町内小学校
社会教育	令和6年 5月 9日 ～令和6年11月14日	文化財保護審議会（全2回）	生涯学習センター
	令和6年 5月28日 ～令和7年 3月 5日	公民分館長会議（全2回）	生涯学習センター
	令和6年 7月25日	人吉球磨人権教育研究協議会 研究大会	生涯学習センター等
	令和6年 8月18日	せきれい館図書館まつり	せきれい館
	令和6年 6月20日 ～令和6年12月17日	月足さおり出前コンサート （全6回）	町内小・中学校
	令和6年11月30日 ～令和6年12月 1日	第75回全国人権・同和教育研 究大会	熊本市等
	令和7年 1月 4日	二十歳の成人式	須恵文化ホール
社会体育	令和6年 4月28日	スポーツフェスティバル	町内体育施設
	令和6年 5月22日 ～10月20日	B&G海洋センター開館事業	B&G海洋センター
	令和6年 5月22日 ～ 9月28日	第74回球磨郡民体育祭	球磨郡・霧島市
	令和6年 8月 6日 ～令和7年 3月18日	中学校部活動地域移行検討 協議会（全3回）	生涯学習センター
	令和6年10月 6日	第3回奥球磨駅伝競走大会	多良木町、湯前町 水上村、あさぎり町
	令和6年11月17日	第3回健幸駅伝大会	免田総合グラウンド
	令和6年12月15日	第72回球磨一周市町村対抗 熊日駅伝大会	人吉市・球磨郡内

令和6年度 あさざり町教育委員会 点検・評価表

評価(4:十分達成 3:概ね達成 2:やや不十分 1:不十分)

第3期あさざり町教育振興基本計画における分類及び事業		事業概要	教育委員会評価	評価委員会評価	今後の方針
ア 確かな学力の育成					
・指導主事活用	町内6小中学校の経験年数5年目までの教師を中心に、6月から1月まで授業改善の指導・校内研修支援を実施。今年度は38件。				
	各学校ICT教育推進委員にて4回の部会を開催し、実践事例発表会や実践事例集作成によって、今後の実践の参考にすることができた。また、体系表の進捗・定着状況のチェックを行い、小学校段階での情報活用能力の足並みを揃えることにつながった。				
	・JETプログラムにより外国青年(ALT)を招致し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る。 ・あさざり町では町内小中学校のほか保育園、こども園にも派遣している。また、一般市民を対象とした英会話教室も実施している。		3	3.3	・ICTを活用した授業づくりや、板書も工夫して見やすい授業づくりに取り組まれていると思います。
	・図書司書配置	町内小中学校の学校図書館の円滑な運営のため、南国フーズサービス(株)と業務委託を行い、各学校1名の図書司書を配置。			
イ 特別支援教育の推進・啓発					
・特別支援教育支援員適正配置	・小学校5校に14名、中学校に5名配置。 ・個別の支援を要する児童生徒への、学習・生活指導の補助等を行っている。				
	・年6回開催。 ・町における特別支援教育を一層推進するため、認定こども園・幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校等、家庭及び医療・福祉関係機関と連携し、地域におけるネットワークを構築するとともに、特別支援教育及び障がいのある乳幼児、児童生徒に対する理解啓発を図っている。 ・特別支援教育に関わる教職員等を対象に全体研修会を開催し、実践力や指導力向上に寄与している。		3	3	－
					全ての児童生徒が互いの違いと個性を認め合う学校・学級づくりや、全ての児童生徒の成長を促進する環境整備を進める。
ウ 豊かな心の育成					
・小中学校修学旅行補助事業	・児童生徒の保護者を支援するため、修学旅行費に対し補助金を交付している。 ・小学校5校134名268,000円、中学校136名1,360,000円。				
	・年3回開催。 ・町内の認定こども園・幼稚園・保育園、小学校及び中学校が互いの教育機能を理解するとともに、専門的知識・技能の習得並びに指導力の向上を図り、保健・福祉機関と一体となって取り組むことで教育効果を高め、幼児・児童生徒がたくましく心豊かに育つよう連携と交流を推進している。 ・今年度は架け橋期カリキュラムを作成した。				
・幼・保等、小、中連携協議会	・中学校生徒の学校生活上の相談や心の悩みなどを解決に導くため、会計年度任用職員を1名配置。 ・相談は、不登校及びその他(部活動、学習、進路等)などで1,504件。 ・生徒の様々な不安や課題、戸惑いにより傾聴し寄り添うことで、生徒への支援ができていく。		3	3.3	・修学旅行費の補助していただけたことはありがたいと思うし、生徒の様々な心の悩みに対して、しっかりと心の教室相談員がついているのはありがたいと思います。
	・心の教室相談員配置				
・人権の花運動		・花の種子等を、児童等が協力し合って育てることを通じて、協力、感謝することの大切さを生きた教育として学ぶことを目的に免田小学校で実施。 ・育てた種は次年度、多良木小学校へ伝達。			

第3期あさぎり町教育振興基本計画における分類及び事業	事業概要	教育委員会評価	評価委員会評価	評価委員意見	今後の方針
工 健やかな体の育成					
・子ども育成奨励支援金事業 ・部活動運営費補助事業 ・各種大会出場費補助事業 ・芸術鑑賞補助事業	・部活動や全国大会などの上位大会等に参加する児童生徒を支援するため、補助金を交付している。現時点での本年度実績は次のとおり。 ・子ども育成奨励支援金事業(申請件数79件、1,730,000円) ・部活動運営費補助金(あさぎり中学校1件、1,158,000円) ・各種大会出場費補助金(あさぎり中学校28件、1,167,050円) ・芸術鑑賞補助金(小学校5校250,000円、中学校100,000円)			・中学校部活動地域移行についての協議金が4回実施のためか評価が低いが、給食費の無償化も行っているの で、私は概ね達成と思います。 ・中学校部活動地域移行は熟考のうえ、慎重に進めて頂きたい。 ・学校給食センター運営事業のアレルギーマスタープラン策定等素晴らしい取り組みだと思つた。予算の問題等大変とは思ふが、食育は基本中の基本、他の予算を削つても子供たちの心のゆとりに繋がるような、満足できるものにして欲しい。	
・中学校部活動地域移行検討協議会	・中学校部活動の地域移行についての協議検討を本年度は先進地視察含め4回実施。 ・11/18は熊本県体育保健課職員から国・県の方角性を説明いただき、12/24は玉名市と玉東町を視察。				
・就学時健診事業	来年度新入学予定児童の心身の状態を的確に把握し、義務教育学校への就学に当たつて、保健上必要な助言・助言を行うとともに、適正な就学を図るため実施し、97人が受診した。	2	2.8		児童生徒の体力・運動能力の向上のため、各種支援と部活動等の改善及び外部人材の活用等や、食育の推進を図る。
・フットボール洗口事業	・各学校で年度初めに希望調査を行い希望する児童・生徒にほぼ毎週実施。 ・フットボール洗口作成は教育委員会で行っている。 ・今年度希望児童・生徒数(小学校730人、中学校443人)				
・子どもの移動経路交通安全プログラム	・2月上旬に関係機関立ち合いによる危険箇所の現地視察。 ・2月下旬に交通安全推進会議を実施。				
・学校給食センター運営事業	・共同調理場方式による運営で調理配達は委託業務とし栄養教諭ほかセンター職員3名配置 ・給食提供者数は延べ1368人(児童733人・生徒443人・教職員等172人・その他試食会等20人)で、児童生徒の給食費無償化実施により、52,567千円(高騰据置分を含む総額は63,035千円)の支援を行った。 ・食物アレルギー対策は管内で群を抜く38品目に対応中で、前年比で3品目増加した。また、栄養教諭を中心に咀嚼指導を徹底することでウズラの玉子なども提供を行っている。				
オ 学校・家庭・地域等との連携・協力の推進					
・地域学校協働活動推進事業	【地域学校協働活動】 ・町内小・中学校の教育活動(社会科・生活科・家庭科・総合的な学習の時間の時間や読み聞かせ、交通指導等)を支援するために、専任の推進員を配置し、学校と地域のボランティアが連携・協働して取り組み、学習成果の充実が図れた。 ・小中学校で176回開催。 【地域未来塾】 ・中学校3年生の希望者(81人)を対象に、1・2学期の放課後(10回)と夏季休業日(6回)に、町内の元教員や大学生等が数学と英語の補習指導を行い、生徒の学習意欲の向上が図れた。 【小学校あさぎりチャレンジ塾】 ・町内5小学校の3年生(58人)の希望者を対象に、夏季休業日(5日間)に、特別支援教育支援員が国語・算数の補習支援を行い、基礎学力と学習習慣の定着が図ることができた。	4	3.7	・私も読み聞かせを各小・中学校に行っているが、本離れが進む中、これからは読み聞かせを通して、本の大切さを伝えていきたいと思つています。 ・生活・家庭科、読み聞かせ、小学生の補習等、婦人会でも協力できることがあると思つています。	学校、家庭、地域のそれぞれが連携・協働し、児童生徒の健やかな成長を支援する。
・くまもと「親の学び」プログラム活用事業	就学前検診など、保護者が多く集まる機会に、親と子のかかわり方の参加型講義を開催し、親同士も顔見知りになる機会を提供することができた。				
・家庭教育支援事業(家庭教育講演会)	学校授業参観後の保護者に対し、外部からの講師を招き、より深い学びを提供する講演会を開催することができた。				

第3期あさぎり町教育振興基本計画における分類及び事業	事業概要	教育委員会評価	評価委員会評価	評価委員意見	今後の方針
力 社会の変化に対応した教育の推進					
(1) 学校教育	【施設概要】屋内運動場棟(面積:1,393㎡、建築:S58年度、構造:RC造2階建) 【改修内容】屋根塗装、内外装、建具等に経年劣化が見られていたため、あさぎり町公共施設個別施設計画P46・47(令和3年3月策定)に基づき、全面改修や空調設備設置し、老朽化した学校施設の改修により、安全で快適な教育環境の改善を図った。 【請負者】丸昭・勇特定建設工事共同企業体			・GIGAスクール運営に関して、時代の流れ的に必要だと思うが、それを使うことによる健康面(ブルーライト等)、セキュリティ等に不安あり。 ・現在子育て中の保護者は、学校のリアルを把握されているのだから、あさぎり町にも、今の学校で起きていること、困っていること等、学校通信コーナーを設けたらよいと思う。	安全・安心かつこれからの時代にふさわしい環境づくりのため、施設・設備の計画的な更新を図る。
	・学校に整備したGIGAスクール用ネットワーク及びGIGAスクール用端末を潤沢に活用するため、富士フイルムビジネスソリューション(株)熊本支社と業務委託を締結。 ・運営支援会議開催3回/年	4	3.7		
	(株)オカモトと業務委託を締結し、6校・1回3時間・月3回を目途に、「GIGAスクール構想」により実現される新たな学びに対応するため、学校における機器やソフトウェア等の使用方法の周知や使用マニュアルの作成等を行うGIGAスクールサポーターを学校に配置。				
	・小学校の通学距離については、おおむね4キロメートル以内となっているため、これを超える通学距離となる下区、永才地区(番地が3000番台)の小学校1～3年生までの児童に対しバス定期券の交付を行っている。 ・今年度対象者は4名。				
	キ 教員の資質向上				
教職員等研修会	・町内教職員を対象に、喫緊の課題に対する講話・演習を選定して毎年実施。 ・今年度は、8月9日にせきれい館で熊本の学び及び地域との連携協働に関する講話・演習を実施。100人参加。				
	・年に1回実施。 ・リスクの高い職員を早期に見出し、専門医受診につなげることで、メンタルヘルスの不調を未然に防止。 ・検査結果を集団分析し職場におけるストレス要因を評価し、職場環境の改善につなげる。 ・今年度は99名受検。	3	3	-	教職員の資質向上を図るための研修を実施するとともに、働き方改革の充実を図る。
	ア 生涯学習の推進				
(2) 生涯学習・生涯サポート	・あさぎり町には「生涯学習センター図書館」「せきれい館図書館」があり生涯学習センターを一般図書、せきれい館を児童図書と区分けを行って運営している。 ・生涯学習センター:蔵書数11,734冊 ・せきれい館:蔵書数8,296冊 ・毎月5日の広報誌で新刊、特集コーナーの紹介を行っている。また、「図書館まつり」を開催し、読み聞かせや本のリサイクルを行い、利用者の増を図っている。	3	3.3	・町社会教育団体育成指導の運営補助金交付は有難い限りです。金庫減少が進む中、運営もなかなか難しい局面を迎えております。交付金は助かりますが、運営存続の知事も頂きたい。各団体同様な状況と思われる。	生涯にわたって自らを高め、豊かな人生を送れるよう主体的に学ぶことができる生涯学習の機会の充実を図る。
	各団体(婦人会、青年団、PTA、文化協会、子ども会)へ運営補助を交付し、活動の活性化を図る。				
	・公民分館の改修費1/3補助の事業。 ・8公民分館からの申請があり、シロアリ駆除、エアコン設置、照明LED化、水洗便器取り換えなどに活用された。				

第3期あさぎ町教育振興基本計画における分類及び事業	事業概要	教育委員会評価	評価委員会評価	評価委員意見	今後の方針
イ 生涯スポーツの推進					
・B＆G海洋センター開館事業 ・総合型地域スポーツクラブ「ふれあいスポーツクラブあさぎ」 ・スポーツ推進委員	・住民の体力向上と健康増進等を図るため、5月22日～10月20日の9時から21時にプールを開館(毎週火曜休館) ・今年度利用者は8,991名で、R5年度の7,862名から約14%の増。 健康で元気ある地域や人づくりを目的とし、20種目に478名が加入。			・スポーツフェスティバルを行ってもらっているが、分館対抗でなく、そしてビーチボールハレーやソフトボールにとらわれない自由参加型の遊びを取り入れたスポーツフェスティバルになるというのではないかと思います。人口減少もあり、選手決めも大変になってくると思うし、もっと気楽に自ら参加したいと思えるようなスポーツフェスティバルであって欲しいと思います。 ・スポーツテスト(体力測定)を実施してほしい。自分の体を知ってこそ、やる気が起きる。 ・健幸駅伝大会は、参加チームが少ないのでは。 ・合併して20年経った。もうそろそろ、町全体の町民体育祭が必要ではないか。	スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことを目指すため、幼児期から老年期まで、町民がスポーツを楽しめる施策の展開を図る。
	・球磨人吉スポーツ推進委員会(あさぎ町) ・第63回全国スポーツ推進委員協議会(宮崎県) ・第67回九州地区スポーツ推進委員研究大会兼第62回熊本県スポーツ推進委員研修会(熊本市)	4	3.7		
	・4月28日、地域住民の団結と健康増進並びに体力づくりを目的に、町内3会場で分館対抗のビーチボールハレーを実施。 ・43行政区から82チーム606名が参加。 ・ソフトボールは前日の悪天候により中止。				
	・町民の健康増進及びコミュニティの活性化としてラジオ体操会を免田総合グラウンドで実施。 ・参加者は585名。 ・令和4年度から2年ぶりの開催。				
	・10月6日、水上村、湯前町、多良木町、あさぎ町をコースとした大会を実施。 ・全国各地から高校の部に57チーム、大学・実業団の部に20チームが出場。 ・11月17日、町民の健康と体力づくりを目的として免田総合体育センターグラウンド周辺を周回コースにて実施。 ・23チーム出場。				
ウ 生涯学習・スポーツ関連施設					
・学校体育施設・社会体育施設の利用人数 ・社会体育施設の維持管理 ・各種スポーツ大会及び芸術・文化コンクール出場奨励金	令和6年度の利用人数は174,049人。 避難所となっている深田高山運動公園体育館のトイレを和式から洋式に改修。その他の施設においては、利用者からの要望により適宜修繕対応を行っている。 ・社会人に対し全国大会等参加への支援を行っている。 ・申請件数36件、270,000円。	2	2.3	・避難所となっている施設の空調設備も課題になってくると思います。近年の異常気象から、災害や避難の回数が増えてくるのでは。 ・アスレチックジムを作ってもらいたい。	施設の安全・快適性を確保し、安心して利用していただけるような環境整備に努める。
	ア 文化芸術環境の創造				
	・県立劇場アウトリーチ事業 ・須恵文化ホール自主文化事業 ・せきれい館自主事業	・熊本県立劇場との共催事業。町内の小学校5年生を対象に、音楽室での出前授業を実施。演奏家が子ども達の間近で演奏し、クラシック音楽の魅力を伝えることができた。 ・7月13日の「三遊亭好楽落語会」は500名満席。 ・10月20日の「サンドアートパフォーマンス」は来場者計280名。いすれも、郡市内のみならず県内各地からの来場があった。 ・8月18日、夏休みの子どもたちと保護者を対象に、ALTによる英語の読み聞かせ劇とワークショップ(おめんづくり)及び劇団はれつとによる人形劇「赤ずきん」を実施。参加者は125名。	4	3.7	・クラシック音楽等、プロの音楽を聴く機会を広げられないか。 ・娯楽施設の乏しい郡市であるので、文化ホール等の施設活用を。自主事業等の予算拡大を。

(2) 生涯学習・生涯スポーツ

(3) 文化芸術の振興

第3期あさぎ町教育振興基本計画における分類及び事業	事業概要	教育委員会評価	評価委員会評価	今後の方針
(3) 文化芸術の振興	イ 文化財の保存・活用(保存、文化財理解、郷土愛)			
	・今年度は2回の会議を実施。 ・文化財保護事業の内容の確認や町指定文化財修理補助事業への補助金の交付等について協議を行った。 ・委員の研修として熊本県文化財保護協会主催の研修会(8/7)と熊本県文化財保護大会(11/18)に参加した。			
	・文化財防火火デーに伴う防火訓練 ・今年度は放水訓練、初期消火訓練等。 ・今年度は免田の築地熊野神社・薬師堂(築地)で計画していたが、雨天のため中止。			
	町所有の指定文化財や関連施設の清掃管理業務委託。 ・岡原霧島神社公衆トイレ清掃管理業務委託(契約額:37,044円) ・才園古墳公園清掃管理業務委託(契約額:30,000円) ・宮原観音堂合併浄化槽維持管理業務委託(契約額:207,460円) ・勝福寺跡(荒茂毘沙門堂・古塔碑群)清掃管理業務委託(契約額:180,000円) ・町内遺跡清掃管理業務委託(契約額:158,964円 ※実績額:119,476円)			
	①管理業務委託 ・丸池リュウキンカ公園清掃管理業務委託(契約額:1,512,500円) …丸池の年間管理(除草作業)及びリュウキンカの植生確認。 ②保全対策事業 ・夏の丸池リュウキンカ公園観察会(7/30)参加者16名。 …リュウキンカをはじめとする丸池の植物・生物の観察会を実施。 ・丸池リュウキンカ公園談話会(3/22)参加者26名。 …丸池のリュウキンカの調査員による調査結果報告と参加者との意見交換会を実施。 今年度は3件の事業に対し、補助金を交付。 ①栗串六地蔵立木伐採工事業(総事業費:1,493,327円 補助金額:1,119,000円) ②冷水薬師尊堂階段取替工事業(総事業費:896,967円 補助金額:646,967円) ③誓願寺阿弥陀堂屋根改修工事業(総事業費:902,594円 補助金額:652,594円)※繰越事業	3	3	・文化財の保護事業をしっかりとやらせておられることが分かったが、なかなか認知度が低く、せっかくあくざりクエストなどゲームでアピールしてあるので、もっと活用できればと思います。 ・町有文化財の清掃活動に、小・中学生を参加させてどうか。授業の一つとして(例:適足の時、奉仕作業)。文化財を知る機会になると思う。 ・丸池リュウキンカの視察に行かせてもらったが、水不足の問題はどうなったのか。早急な対応が必要ないように感じた。 ・文化財講座はとても良い。これからもずっと続けてほしい。
	・文化財講座 ・あさぎ町の文化財・歴史を町内外に広く周知し、町民の文化的向上を目指すことを目的として、令和3年度より開催している。 ・今年度は、座学3回、体験講座(銅鑄製造体験・曲げわっぱ作り)2回を開催し、座学①は25名、座学②は31名、座学③は53名、銅鑄製造体験は13名、曲げわっぱ作りは6名が参加した。 ・各団体(町外を含む)からの要請に応じ、町内の歴史・文化財に関する出前講座を開催。 ・要請件数は13件、受講人数は199名。 ・町内の小・中学校からの要請に応じ、町内の歴史・文化財に関する出前講座を開催。 ・要請件数は5件、受講人数は計271名。			
	ウ 伝統芸能の保存・継承			
	町内の保持団体のうち、6団体から申請を受けている。 ①柳別府太鼓踊り保存会 ②下免田太鼓踊り保存会 ③下免田猿踊り保存会 ④九州相良古代踊り保存会 ⑤上丰・石坂棒踊り保存会 ⑥庄屋日本太鼓踊り保存会	2	2	・夏祭り等、伝統芸能披露の場を提供できないか。
	ア 人権教育・啓発の推進			
	・人権教育の一環として、月足さおり氏のピアノコンサートを町内全小・中学校で開催。 ・先天性の病気を持ちながら音楽活動を続ける月足氏の演奏や話を聞くことで、一つしかない尊い命の大切さや周りの人々への感謝の思い、音楽の素晴らしさを学ぶことを目的とする。 ・差別のない人権共存社会の実現や、人権教育・啓発活動の推進を目的に研修会を開催。日本オリンピアーズ協会の木村隆氏を講師とし、「スポーツと人権、同和問題」と題し実施。 ・参加者は33名。 ・11月30日～12月1日、部落差別をはじめあらゆる差別を無くし、誰もが幸福に生きることのできる社会づくりを目的に、13年ぶりに九州地区で開催。 ・2日間を通して74名参加。	4	3.7	・あさぎ町町民は人権に対して、月足先生をはじめ子供たちは素晴らしい教育を受けていると思います。
(4) 人権尊重の推進	全国人権・同和教育研究大会			伝統芸能や伝承文化の保存と継承のため、助言・指導に努める。

4 基本理念と基本目標

(1) 基本理念

夢や希望をもち

未来を切り拓く 人づくり

○ 本町は、「若者が活躍するまち 豊かなまち 幸せ感じるまち」の実現を目指しています。また、将来「様々な人たちが、様々なポジションで、様々な活躍をして、活気のある町」をイメージしてまちづくりに取り組んでいます。

○ 社会が安定期から変革期に移行する時代において、人口減少社会、少子・高齢化、多様な価値観の広がり、育児・家事・仕事のジェンダー平等、デジタル化、地球温暖化など、多くの課題が存在しています。

このような状況の中、これからの社会を見据え、願うことは、どのような社会状況においても、夢や希望をもち、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動しながら、いきいきと躍動する町民の姿です。また、町民一人一人がお互いを尊重し、支え合い、高め合いながら共に生きる社会の姿です。そして、そのような町民を育て、社会をつくること、人づくりを担う教育の大切な役割と考えます。

○ 以上のようなことから、一人一人が自分の可能性を信じ、夢や希望をもって、自らの人生とあさざり町の未来を切り拓いていってほしいという思いを込めて、教育振興基本計画の基本理念を「夢や希望をもち 未来を切り拓く 人づくり」と掲げ、さらなる本町教育の振興を図ります。

◇ SDG s と教育

○ 持続可能な開発目標（SDG s : Sustainable Development Goals）は、「誰ひとり取り残さない」を理念とし、実現に向けた17の目標を掲げています。このうち教育は目標4「質の高い教育をみんなに」に掲げられ、すべてのSDG sに関わる取組の基礎となるものです。

SDG sの理念や目標を実現していくためには、現代社会が直面する環境、貧困、人権、平和、開発といったグローバルな課題を自らの問題とし

て捉え、身近なところから取り組むことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出して行くことが求められます。



(2) 基本目標

ア 子どもたち一人一人の「生きる力」を育みます

学校教育においては、次代を担う子どもたちの自立と成長を保障するために、「生きる力」を一人一人に確実に身に付けさせることが求められています。学習指導要領では、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」が、「生きる力」の3つの柱とされており、これらのバランスのとれた教育を進めることが重要です。一人一人の子どもに応じた、きめ細かな教育を推進し、子どもたち

の自己実現に向け、「生きる力」を育みます。

イ 学校・家庭・地域の連携を深め、地域社会全体の教育力を高めます

社会の変化に伴い、家庭や地域の在り方、その機能も変化しています。家庭や地域の自主性を尊重しつつ、子どもたちを中心にし、学校・家庭・地域・行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、互いに連携しながら、地域社会全体で教育を推進することが求められています。地域の多くの大人が子どもへの教育について関心をもち、地域社会全体で五者連携による子どもを育む気運を高め、地域社会の教育力を高めます。

ウ 人生を豊かに生きるために、生涯にわたって楽しく学び続ける機会や場、活躍を支える仕組みを整えます

人生100年時代、Society5.0など、私たちの暮らしにとって大きな転換点を迎える中で、時代の変化に柔軟に対応し、豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習の充実が求められています。町民が自ら生涯にわたって学習し、その成果を、日々の生活や働くこと、地域・社会の問題解決につなげていけるように、人と地域を育む生涯学習・スポーツ・文化活動の推進を図ります。

エ 伝統文化を尊重し、わが郷土に誇りをもつ態度を育てます

本町をはじめ人吉球磨地域は文化財の宝庫と言われています。郷土への理解と愛着を育む文化財を保存継承し、学校教育や社会教育に有効活用されるよう環境を整えるとともに、これまで継承されてきた伝統芸能など貴重な文化遺産を活用し、町民の郷土への愛着と誇りを育みます。

オ 豊かな心をもち生命や人権を尊重するあたたかい人を育みます

すべての人々が、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、生命を大切に、社会生活の基本的ルールや思いやりの心を身に付け、社会に貢献しようとする精神を育むことが求められています。人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深め、公共心を持ち自立した個人を育てる教育を推進します。